



—信用と創造—



# 株主の皆様へ

2024年度報告書

2024年4月1日～2025年3月31日



# 株主の皆様へ



代表取締役社長

仁島浩順

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年度の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

「第九次中計」最終年度の当期業績は、市況回復の進むオフィスビル賃貸を中心とする賃貸セグメントが大幅な増収増益となって業績を牽引し、4期連続の経常最高益と12期連続の純利益最高益を達成することができました。

その結果、第九次中計3か年の累計業績は右頁の通りで、売上高、営業利益、経常利益、当期利益のすべてにおいて前八次中計の実績を上回り、中計最高業績を達成いたしました。

当社は、2023年5月に「持続的成長戦略」の基本方針を公表し、その後も持続的成長を着実に進めるため積極的見直しを

進めております。今年3月に策定した「第十次中期経営計画」においては、主要事業であるオフィスビル賃貸事業の着実な回復・改善などを受け、経常利益3千億円の達成目標を1年前倒しして2027年3月期に達成する目標としております。

更に、日本最大級の「六本木五丁目再開発」が昨年3月に都市計画決定し事業化に大きく前進したことに加えて、インド・ムンバイで2019年に用地取得し、来年秋に稼働予定の『BKC1号物件(約延4万坪)』のテナントが東京都心最高水準相当の賃料で内定するなど、国内外でその先の持続的成長を支える基幹プロジェクトが着実に進捗しています。当社は、こうした具体的な案件に積極投資を継続し、経常利益3千億円を通過点として、更なる高みである4千億円を目指し強固な事業基盤の拡大に邁進してまいります。

また、これらの要素を織り込み、今年5月には「持続的成長戦略の着実な進展と株主還元強化、経営体制改革推進について」を公表し、年間増配ペースを年10円から年15円へと引き上げることいたしました。「配当倍増、100円配」も利益計画に合わせて1年前倒しすることで株主還元を一段と強化するとともに、会社の成長に合わせて取り組んできた経営体制の改革を引き続き進めてまいります。

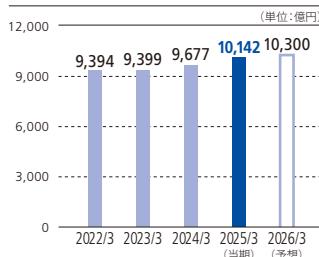
当社は、引き続き持続的成長と企業価値の向上に向けた取り組みを着実に推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも末長いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

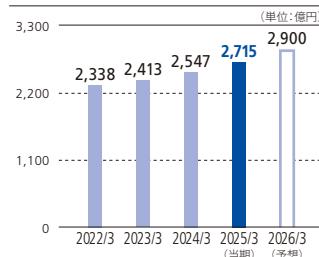
2025年6月

## 財務ハイライト(連続)

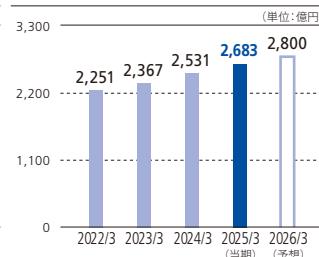
### 売上高



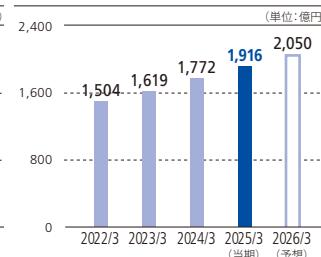
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



## 第九次中期経営計画の達成状況

(単位:億円)

	八次実績 (2019.4.1~2022.3.31)	前々期 (2022.4.1~2023.3.31)	前期 (2023.4.1~2024.3.31)	当期 (2024.4.1~2025.3.31)	九次実績 (3か年累計)	八次比
売上高	28,704	9,399	9,677	10,142	29,218	+514
営業利益	6,875	2,413	2,547	2,715	7,675	+800
経常利益	6,556	2,367	2,531	2,683	7,581	+1,025
当期利益	4,328	1,619	1,772	1,916	5,308	+979

## 配当について

増配額を年10円から年15円に。年100円配達を2027/3期に1年前倒し。

配当性向35%に達するまで年15円以上の累進配当を継続する。

当社は、長期的な収益基盤強化のため積極的な成長投資を継続しつつ、利益成長に沿った「持続的増配」をおこなうことを基本方針としております。

第十次中期経営計画の最終年度にあたる2028/3期に経常利益3千億円達成を目標としておりましたが、2027/3期に1年前倒しでの達成を見通せるようになったため、増配ペースも利益成長に合わせて10円から15円に引き上げ、2027/3期に「100円配」とすることいたしました。

当期末配当は期初の予定通り前期比4円増配の35円とさせていただきます。なお当期(2025/3期)で11期連続の増配、来期は年内配当85円(+15円)となり、12期連続の増配を予定しております。

	前 期	当 期	前期比	(一株当たり・円)	
				次期予想	前期比
中 間	29	35	+6	42	+7
期 末	31	35	+4	43	+8
年 間	60	70	+10	85	+15

## 利益成長に沿った持続的増配



## 第十次中期経営計画 (2025年3月28日公表)

当社は、市況の変化に強く利益が下振れしにくい強固な事業基盤を築くとともに、常に成長のための投資を怠らず、一過性の利益に頼らない持続的な成長を成し遂げ、その果実として持続的な賃上げと持続的な株主還元を可能にするという「持続的成長戦略」を、経営の根本としております。

本年3月28日には、2026年3月期を初年度とする「第十次中期経営計画」を発表し、更に同5月13日に「持続的成長戦略の着実な進展と株主還元強化、経営体制改革推進について」を発表いたしました。

「第十次中期経営計画」、および5月13日発表の株主還元強化と経営体制改革の要旨・概要は下記の通りとなります。

### 利益計画

- ・長期的ターゲット：今後10年以内 経常利益4,000億円超
- ・1年前倒しで、2027/3期(中計2年目) 経常利益3,000億円到達
- ・第十次中計3か年で15期連続の当期利益最高益更新を目指す

### 投資・株主還元方針

- ・東京、ムンバイに10年で2.5兆円を追加投資→希少性高い“プライム資産”を大幅に積み上げ
- ・株式売却、一部固定資産の活用→“プライム”以外の資産を縮減、資産効率向上
- ・持続的成長により、積極投資継続と株主還元強化を営業CFの範囲内で両立

#### 株主還元強化

- ・増配額5割増し、年100円配達成を2027/3期に1年前倒し
- ・配当性向35%に達するまで年15円以上の増配を継続

### ガバナンス体制の進化

- ・事前警告型買収防衛策は予定通り廃止、政策保有株式縮減継続
- ・取締役会の構成の多様性を確保、取締役会はより監督機能重視へ
- ・監督と執行の分離のため、執行役員体制の強化

#### 経営体制改革

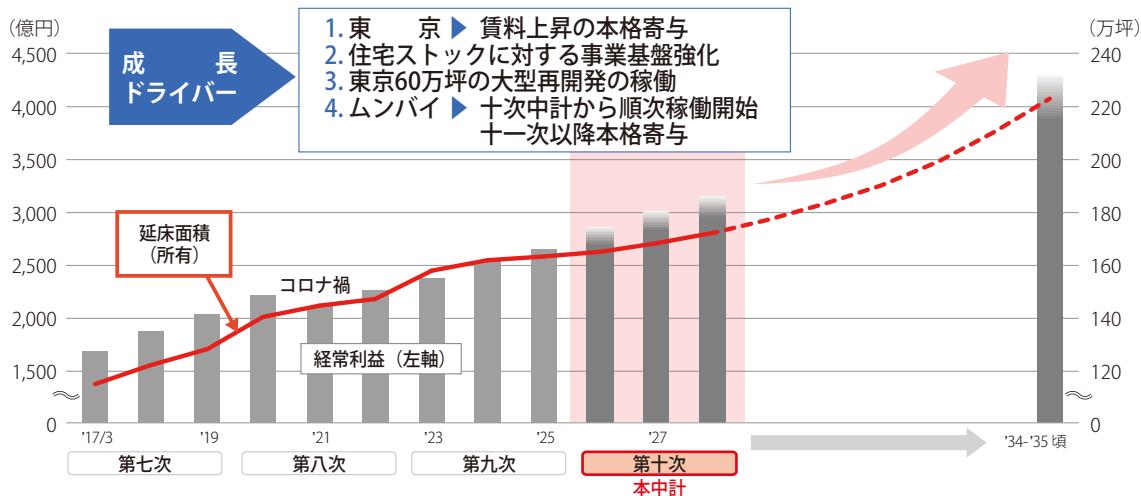
- ・2年後、監査等委員会設置会社移行並びに社外取締役過半数を企図し、経営体制の充実と改革を推進

### 人的資本投資

- ・多様性の極めて高い従業員構成
- ・生産性を向上させ賃上げ(25/3期実績：5.7%)継続を実現
- ・グループ従業員(役員除く)に勤続功労株式報酬制度を導入・拡大  
自社株受取権付与により株価をより意識した経営へ

## 利益計画

✓ 長期的ターゲット：今後10年以内の経常利益4,000億円超を目指す



✓ 第十次中期経営計画 骨子

- ・ 1年前倒しで中計2年目(2027/3期)に経常利益3,000億円到達。さらに、利益成長を加速
- ・ 3か年累計で経常利益9,000億円、当期利益6,500億円
- ・ 2025/3期まで12期で当期利益連続最高益更新(当期利益1,000億円以上のプライム上場企業では当社のみ)  
この3か年も当期利益連続最高益更新を目指す

(単位:億円)

	第八次 (20/3-22/3)	第九次 (23/3-25/3)	第十次 (26/3-28/3)	
売上高	28,704	29,218	32,000	+10%
営業利益	6,875	7,675	9,300	+1,625 +21%
経常利益	6,556	7,581	9,000	+1,419 +19%
当期利益	4,328	5,308	6,500	+1,192 +22%

加速

# 第十次中期経営計画 (2025年3月28日公表)

## 投資・株主還元方針

東京、ムンバイに10年で2.5兆円を投資→希少性高い“プライム資産”を大幅に積み上げる

### 開発中のプライム資産 (新規開発計画)

#### 東京都心の大規模再開発事業は最大の成長エンジン

- 六本木五丁目、八重洲など複数の大型案件が進行中



六本木五丁目西計画  
(延床面積:33万坪)



八重洲二丁目南計画  
(延床面積:4万坪)



BKC第1号物件(2026年秋稼働)

東京  
+60万坪

+40万坪

新規 +6万坪

インド

#### 高成長・高収益の インド ムンバイに着目

- 新たに2物件取得で、延46万坪へ



東京に次ぐ一大事業拠点へ

新規取得

取得決定時期	計画	所有形態	用途	敷地面積	建物規模 (延床面積)
2019/7	BKC第1号	80年借地権	賃貸オフィスビル	3,777坪	約4万坪
2022/11	BKC第2号	80年借地権	賃貸オフィスビル	3,595坪	約4万坪
2023/10	ワーリー複合開発	所有権	複合用途	26,625坪	約31万坪
小計				33,997坪	約40万坪
2025/5	BKC第3号	80年借地権	賃貸オフィスビル	1,844坪	約3万坪
2025/5	BKC第4号	80年借地権	高級ホテルなど	2,139坪	約3万坪
総合計				37,980坪	約46万坪

- ✓ “プライム資産”を積み上げるとともに、プライム以外の資産を縮減しつつ資産効率の向上をはかる
- ✓ プライム以外の資産については周辺土地を買収して再々開発、建替・売却など、プライム資産との不断の見直しを実施

## プライム資産

- ・好立地の希少性高いオフィスビル、ラ・トゥール（賃貸マンション）など



新宿住友ビル



住友不動産  
大崎ガーデンタワー



泉ガーデンタワー



住友不動産  
六本木グランドタワー



住友不動産  
中野駅前ビル



住友不動産  
東京三田ガーデンタワー

### 周辺土地を買収して再々開発した事例



物件名	住友芝公園ビル
竣工	1986年
延床(所有)	6,355坪



(仮称)住友不動産 芝公園プロジェクト
2026年1月予定
約12,000坪

不断の見直し

### 建替・売却した事例



物件名	住友外苑ビル
竣工	1987年
延床(所有)	1,149坪



物件名	セントラルレジデンス 外苑西通り
竣工	2014年
総戸数/階数	60戸/地上10階

## プライム以外の資産資産

- ・活用方針を再検討すべきオフィスビルなどの固定資産
- ・販売用不動産
- ・上場有価証券

### 株主還元強化

- ・増配額 5 割増し、年100円配達成を2027/3期に 1 年前倒し
- ・配当性向35%に達するまで年15円以上の増配を継続

- ・持続的成長により、積極投資継続と株主還元強化を営業CFの範囲内で両立

# 第十次中期経営計画 (2025年3月28日公表)

## ガバナンス体制の進化

### [監査等委員会設置会社移行・社外取締役過半数へ](#)

- ・ 現監査役の任期が満了となる2年後、監査等委員会設置会社へ移行し、取締役の過半数を社外取締役とする
- ・ 移行に先立ち、取締役の任期短縮と、監督機能に必要な取締役定数への削減を実施

### [政策保有株の縮減を一段と加速](#)

- ・ 保有意義の薄れたものは順次売却する
- ・ 売却収入は、成長投資へ
- ・ 売却益は、金利上昇への備え等、持続的成長のために有効活用

■ 25/3期末 政策保有株式簿価の株主資本比率 12.9%

■ 28/3期末 10%以下 (2024年5月に当初目標の3年前倒しを公表) に向け順調に進捗

22/3期末	23/3期末	24/3期末	25/3期末	28/3期末
18.4%	16.6%	14.2%	12.9%	10%以下

### 【参考 時価/純資産比率】

- ・ 25/3期は364億円の縮減
- ・ 十次中計3か年では、更に1,000億円の縮減を計画

	24/3期末	25/3期末	前期末比	28/3期末	25/3期末比
時価 (億円)	5,952	5,588	△364	4,588	△1,000
純資産比率	29.0%	25.8%	△3.2%	20%以下	

※ 時価が25/3期末から変わらないと仮定

## 人的資本投資

### [勤続功労株式報酬制度に資するための自己株式取得](#)

- ・ 勤続功労株式報酬制度 (2024年12月導入)  
一定の要件を充足する従業員に対し、各自の業績貢献に応じたポイントを毎年付与し、退職時にポイントに応じた当社株式を交付

- ・ 自己株式の取得

**25/3期** 350億円 (25/3期における保有上場株式の売却代金見積額。2025年5月取得完了)

+

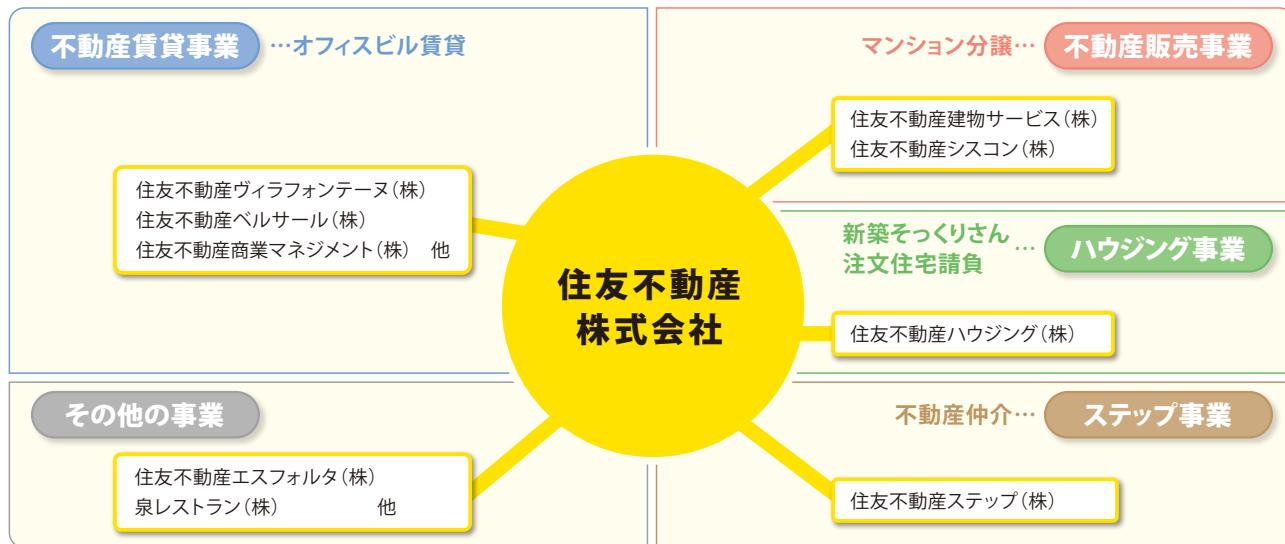
**26/3期** 100億円 (見積額の超過分を原資として追加取得)

※ 本報酬制度へ拠出した後の残高については消却の方針

# 事業の概況

## 住友不動産グループの事業概要

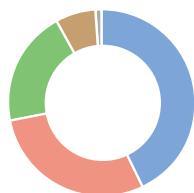
2025年4月1日時点



## 部門別の業績(連結) ※当期実績は、セグメント名称・区分変更後の概算値で記載しております。

(単位:億円)

### 売上高構成



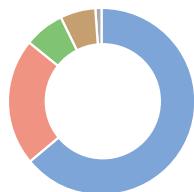
不動産賃貸	43%
不動産販売	29%
ハウジング	20%
ステップ	7%
その他	1%

### 売上高

	当 期	次期予想(当期比)
不動産賃貸	4,336	4,600 (+263)
不動産販売	2,947	2,850 (△97)
ハウジング	2,042	2,100 (+57)
ステップ	731	750 (+18)
計	10,142	10,300 (+158)

(単位:億円)

### 営業利益構成



不動産賃貸	64%
不動産販売	22%
ハウジング	7%
ステップ	6%
その他	1%

### 営業利益

	当 期	次期予想(当期比)
不動産賃貸	1,886	2,100 (+213)
不動産販売	642	600 (△42)
ハウジング	215	220 (+4)
ステップ	195	220 (+24)
計	2,715	2,900 (+185)

※ 構成比率は2025年3月期実績を消去前の数値で算出しております。

# 事業の概況

## 不動産賃貸事業(ビル)

当期は、「住友不動産東京三田ガーデンタワー」、「住友不動産新宿ファーストタワー」の入居進捗、「住友不動産中野駅前ビル」、「住友不動産新宿南口ビル」などの新規稼働に加え、ホテル、イベントホールなどの収益増も業績に寄与した結果、大幅な増収増益となり、売上、営業利益ともに過去最高を更新しました。

オフィス需要は、働きやすいオフィス環境を志向する企業や事業拡大のため採用強化を図る企業の新規需要が引き続き旺盛で、契約面積が解約面積を上回る状況が継続しております。

また、第4四半期に竣工した「住友不動産六本木セントラルタワー」ほか新規ビルのテナント募集も順調に進捗しております。

(単位:億円)

	当期	次期予想(当期比)
売上高	<b>4,336</b>	<b>4,600 (+263)</b>
営業利益	<b>1,886</b>	<b>2,100 (+213)</b>



**住友不動産中野駅前ビル・中野ステーションレジデンス**

(2024年2月竣工)

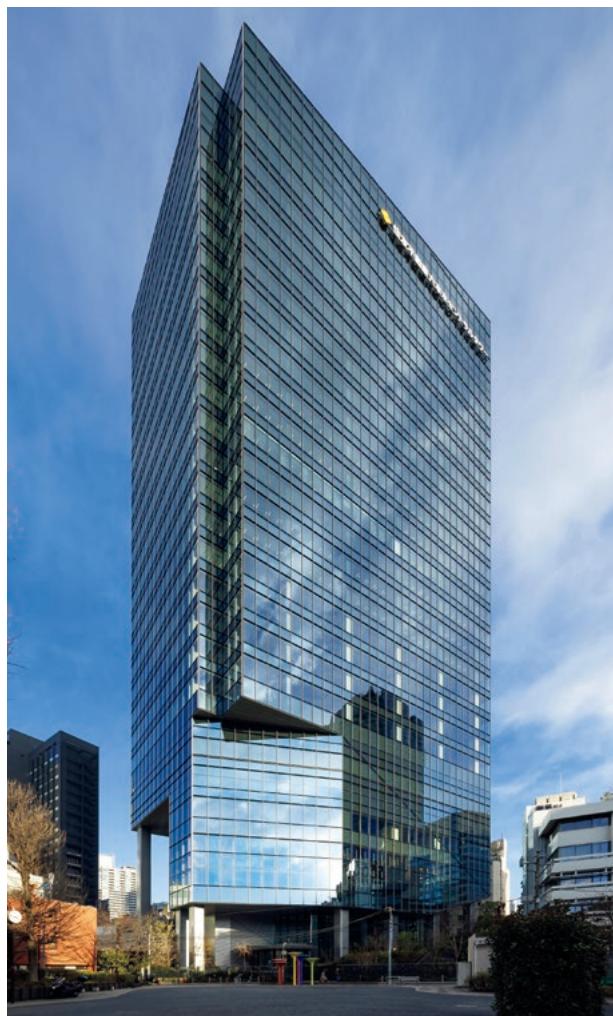
東京都中野区 地上37階/地下2階  
延床面積:86,706㎡



**住友不動産新宿南口ビル**

(2024年3月竣工)

東京都渋谷区  
地上17階/地下1階  
延床面積:23,874㎡



**住友不動産六本木セントラルタワー**

(2025年1月竣工)

東京都港区  
地上21階  
延床面積:31,943㎡

## 不動産販売事業(マンション)

当期は、「シティテラス善福寺公園」、「THE ASAKUSA RESIDENCE」、「シティハウス横浜」、「シティテラス若江岩田」などが引渡しを開始、マンション、戸建、宅地の合計で3,526戸(前期比+2戸)を販売計上した結果、増収増益となり、営業利益は過去最高を更新しました。

マンション契約戸数は2,620戸(前期比△661戸)となりました。期首時点で次期計上予定分は概ね確保済みとなり、さらに次々期計上予定分の契約も順調に進捗しております。

(単位:億円)

	当 期	次期予想(当期比)
売上高	<b>2,947</b>	<b>2,850</b> (△97)
営業利益	<b>642</b>	<b>600</b> (△42)



### シティテラス善福寺公園

(2024年4月引渡開始)

東京都練馬区  
地上4階  
総戸数:170戸



### シティハウス横浜

(2024年9月引渡開始)

神奈川県横浜市  
地上18階  
総戸数:165戸



# 事業の概況

## ハウジング事業 ※2025年3月期まで「完成工事事業」

当期の受注棟数は、「新築そっくりさん」事業で7,044棟(前期比+97棟)、注文住宅事業で2,140棟(同△82棟)となりました。「高断熱リフォーム」や、ZEH仕様を標準とする「住友不動産の栖(すみか)」など環境性能を訴求した商品の受注は引き続き好調で、1棟当たり単価が上昇したことに加え、マンションスケルトンリフォームの着実な成長もあり、受注高は両事業部門とも前年比プラスとなりました。

当期の業績は、両事業ともに計上棟数は減少したものの、販売価格が上昇したことで増収増益となり、最高益を更新しました。

(単位: 億円)

	当 期	次期予想(当期比)
売上高	<b>2,042</b>	<b>2,100</b> (+57)
営業利益	<b>215</b>	<b>220</b> (+4)

## 受注棟数

(単位: 棟)

	当期(前期比)	次期予想(当期比)
新築そっくりさん	<b>7,044</b> (+97)	<b>7,200</b> (+156)
注文住宅	<b>2,140</b> (△82)	<b>2,250</b> (+110)

## 〈新築そっくりさん〉施工事例

施工後外観



Before

貴重な意匠材を有効に活用



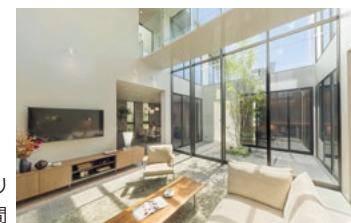
After

細かく区切られた昔ながらの間取りは、ご家族のライフスタイルに合わせて開放的な大空間に

## 〈注文住宅〉瀬田モデルハウス プレミアムJ



内を開き、外にゆるやかに閉じた都市型住宅



間(中庭)により縦横につながった空間

## ステップ事業(仲介) ※2025年3月期まで「不動産流通事業」

当期は、仲介引渡し件数が減少しましたが、取扱単価の上昇により増収増益となりました。

Web広告強化の取組みなどにより問い合わせ件数が増加し、契約ベースでは、件数、取扱高ともに前年比プラスとなり、改善傾向が続いております。

(単位:億円)

	当 期	次期予想(当期比)
売上高	731	750 (+18)
営業利益	195	220 (+24)

## すみふの仲介ステップ



住友不動産ステップ(株) 本社営業センター

## TOPICS

### 2025年大阪・関西万博 住友館

グループ



@Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee | Photo Akira Ito [aifoto]

2025年「大阪・関西万博」において、住友グループは「さあ、森からはじまる未来へ」というテーマのもと「住友館」を出展しています。これまで培ってきた英知や技術を集結させ、人々の心を動かし、時代に変化を与え、未来への希望を創出できるような展示や、夢のあるエンターテインメントを通じ、みなが集い語れる場にします。

#### ■主な展示 参加型共創プロジェクト 「ミライのタネ」

住友グループの技術や取組みから創出されたアイデアが、開催期間を通じて700点以上展示されます。



© Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee

#### 「いのちの物語」に出会う冒険 「UNKNOWN FOREST」

未知なる森の中の冒険を通して、住友が長い時間をかけて見出した森の持つ多様な価値や学びを伝えます。



© Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee

# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表

\* ノンリコース社債・ノンリコース長期借入金を含む(単位:百万円)

資産の部			
科目	期別	当期 (2025年3月31日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
<b>流動資産</b>		<b>1,117,715</b>	<b>1,070,877</b>
現金及び預金		99,020	103,911
営業未収入金		22,332	31,547
販売用不動産		401,946	396,807
仕掛販売用不動産		517,609	474,633
その他		76,805	63,977
<b>固定資産</b>		<b>5,604,707</b>	<b>5,607,513</b>
有形固定資産		4,551,453	4,526,450
建物及び構築物(純額)		1,256,971	1,281,710
土地		3,183,277	3,148,573
建設仮勘定		98,169	81,151
その他(純額)		13,035	15,015
無形固定資産		72,254	68,826
投資その他の資産		980,999	1,012,235
投資有価証券		842,125	885,526
敷金及び保証金		71,449	64,451
その他		67,424	62,256
<b>資産合計</b>		<b>6,722,422</b>	<b>6,678,390</b>

負債の部			
科目	期別	当期 (2025年3月31日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
<b>流動負債</b>		<b>790,067</b>	<b>848,563</b>
支払手形及び営業未払金		29,064	35,216
短期借入金、コマースナル・ペーパー		114,615	137,665
1年内償還予定の社債*		46,500	90,000
1年内返済予定の長期借入金*		299,362	293,789
その他		300,526	291,892
<b>固定負債</b>		<b>3,764,247</b>	<b>3,779,244</b>
社債*		259,100	305,600
長期借入金*		3,172,348	3,134,510
預り敷金及び保証金		270,953	258,494
その他		61,845	80,639
<b>負債合計</b>		<b>4,554,314</b>	<b>4,627,807</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本		1,913,052	1,769,030
その他の包括利益累計額		255,055	281,552
<b>純資産合計</b>		<b>2,168,107</b>	<b>2,050,582</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>6,722,422</b>	<b>6,678,390</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期 (2024年4月1日~ 2025年3月31日)	前期 (2023年4月1日~ 2024年3月31日)
営業収益		1,014,239	967,692
売上総利益		351,278	332,349
販売費及び一般管理費		79,762	77,682
営業利益		271,516	254,666
営業外収益		21,146	20,597
営業外費用		24,339	22,152
経常利益		268,323	253,111
特別利益		38,495	12,895
特別損失		32,978	12,744
税金等調整前当期純利益		273,840	253,263
法人税等		82,158	76,092
親会社株主に帰属する当期純利益		191,681	177,171

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期 (2024年4月1日~ 2025年3月31日)	前期 (2023年4月1日~ 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		253,171	232,033
投資活動によるキャッシュ・フロー		△143,616	△310,694
財務活動によるキャッシュ・フロー		△116,847	△3,655
現金及び現金同等物に係る換算差額		2,376	1,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△4,916	△80,927
現金及び現金同等物の期首残高		103,125	184,052
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		25	—
現金及び現金同等物の期末残高		98,234	103,125

## 連結株主資本等変動計算書 当期(2024年4月1日~2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
2024年4月1日残高	122,805	104,153	1,546,549	△4,478	1,769,030	268,967	7,182	4,696	706	281,552	2,050,582
当期変動額											
剰余金の配当			△31,273		△31,273						△31,273
親会社株主に帰属する当期純利益			191,681		191,681						191,681
自己株式の取得				△15,746	△15,746						△15,746
自己株式の処分				—	—						—
連結範囲の変動			△639		△639						△639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△38,816	9,056	3,564	△302	△26,497	△26,497
当期変動額合計			159,769	△15,746	144,022	△38,816	9,056	3,564	△302	△26,497	117,525
2025年3月31日残高	122,805	104,153	1,706,318	△20,225	1,913,052	230,151	16,238	8,261	403	255,055	2,168,107

# 会社概要／株式情報

## 会社概要

商号 住友不動産株式会社  
本社 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号(新宿NSビル)  
設立 1949年12月1日  
資本金 122,805,350,767円(2025年3月31日現在)  
従業員数 13,844名(2025年3月31日現在・連結)  
HPアドレス <https://www.sumitomo-rd.co.jp/>

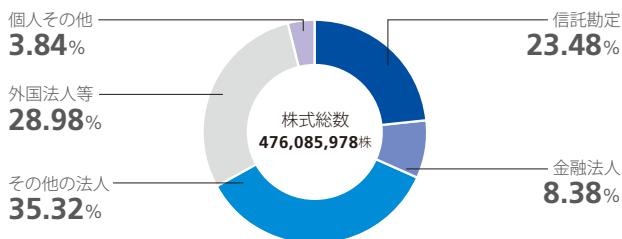
## 役員(2025年6月27日現在)

取締役会長	小野寺 研一	社外取締役	家守 伸正
代表取締役社長	仁島 浩順		寺田 千代乃
代表取締役副社長	小林 正人		田村 計
	尾台 賀幸		
代表取締役・専務執行役員	片山 久壽	常勤監査役	中村 芳文
			田中 俊和
		社外監査役	酒井 孝志
			長谷川 尚子
専務執行役員	橋爪 弘幸	執行役員	三好 麻里
	雨宮 竜三		茂木 哲也
常務執行役員	川合 謙一		浅井健太郎
	岡田 時之		
	小島 武郎		
	津村 健二		
	榎井 俊幸		
	宮川 享之		

## 株式情報(2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,900,000,000株  
発行済株式総数 470,669,934株(自己株式5,416,044株を除く)  
株主数 14,896名(うち単元株主数12,241名)

## 所有者別分布情報



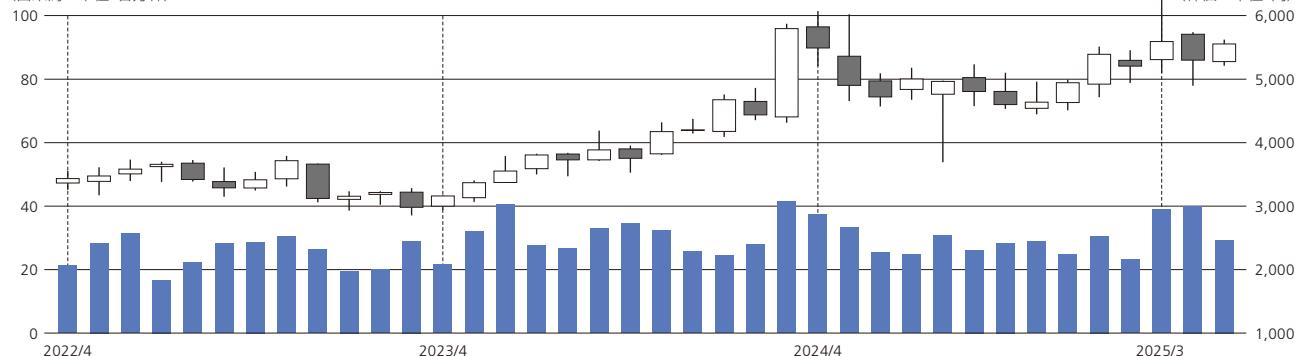
## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	65,626	13.94%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	21,911	4.66%
ELLIOTT INTERNATIONAL LP	14,076	2.99%
株式会社三井住友銀行	10,000	2.12%
ダイキン工業株式会社	8,367	1.78%
大成建設株式会社	8,150	1.73%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	7,941	1.69%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	7,465	1.59%
前田建設工業株式会社	7,244	1.54%
株式会社竹中工務店	7,100	1.51%

(注) 1. 千株未満の端数は切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株価の推移

(出来高 単位:百万株)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	・ 定時株主総会、期末配当金 3月31日 ・ 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="https://www.sumitomo-rd.co.jp/">https://www.sumitomo-rd.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)

### ■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

〈証券会社に口座をお持ちの株主様〉

お取引のある証券会社にお問い合わせください。

〈特別口座の株主様〉

三井住友信託銀行(株) 証券代行部(電話照会先) ☎ 0120-782-031

### ■ 口座振込指定のおすすめ

配当金は銀行等の預金口座またはゆうちょ銀行の貯金口座への振込によるお受け取りをおすすめいたします。なお、証券会社に口座をお持ちの場合は、証券総合口座等でのお受け取りも可能です(特別口座をお持ちの場合等、一部お取り扱いできない場合がありますのでご注意ください)。いずれのお受け取り方法もお手続きが必要です。詳しくは上記【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】に記載の照会先にご連絡ください。

### ■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株未満)をお持ちの場合、以下の制度をご利用いただけます。

1) 単元未満株式を当社に売却する(買取制度)

2) 単元株式(100株)にするため、不足する株数を当社より購入する(買増制度)

いずれの制度のご利用もお手続きが必要です。詳しくは上記【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】に記載の照会先にご連絡ください。

—信用と創造—



ホームページアドレス: <https://www.sumitomo-rd.co.jp/>

